

「ディスカバー農山漁村の宝」(第6回選定)

第2回有識者懇談会概要

1. 日 時：令和元年6月25日(火) 16:30~17:00
2. 場 所：総理大臣官邸3階南会議室
3. 出席者：菅内閣官房長官、吉川農林水産大臣、片山内閣府特命担当大臣(地方創生担当)、
杉田内閣官房副長官、西川内閣官房参与、青木内閣官房内閣審議官、室本農林水産
省農村振興局長
林座長、織作委員、田中委員、三國委員、向笠委員、横石委員

4. 概 要：

(林座長)

- ・委員の皆様の前には、先日のサミットで大賞を受賞した和歌山県の早和果樹園のミカンジュースがあるが、「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された地区にはこのような素晴らしい物があることを有識者懇談会としてもPRしていきたいので、御賞味いただきたい。
- ・本日は、第6回選定以降の選定方針及び新ロゴマークについて決定するほか、先日行われた「ディスカバー農山漁村の宝」サミットの報告に加えて、今後の「ディスカバー農山漁村の宝」の展開についても議題となっているので、宜しくお願いしたい。

【事務局説明及び意見交換】

(室本農村振興局長から、資料に基づき、「ディスカバー農山漁村の宝」サミットの報告、第6回選定以降の選定方針について、新ロゴマーク及び今後の「ディスカバー農山漁村の宝」の展開について説明。その後、委員からいただいた主な意見は以下のとおり。)

- ・選定されて終わりではなく、その後も成長を続けていくことが「ディスカバー農山漁村の宝」の目指すところであり、そのためには、選定地区同士の交流が大切だと思う。
- ・茨城県の観光大使をしているが、茨城県のアンテナショップで「ディスカバー農山漁村の宝」の商品が取り扱われていないことに驚いた。アンテナショップだけでなく、レストラン等でも選定地区の特産品が使われるようPRしていきたい。
- ・第6回以降の選定方針については、部門を分けて応募を行うことで、応募団体が各々の強みを出せると思うので良い。選定で終わりではなく、選定を機に新たなビジョンを持って取り組んでいく必要があることから、審査では、今後の展望や計画などもしっかりと読み取りたい。
- ・個人部門については、受賞者がアンバサダーのような活動をしていくのではないかと思うので、その周りにサポーターが集まるような仕組みが作れば良いと思う。
- ・ロゴマークは勢いが感じられるデザインになっているので、販売促進力のあるロゴとして期待したい。
- ・藤井委員と永島委員と協力して、全国的に焼き鳥ジビエを展開する計画をしているため、御協力いただきたい。
- ・選定地区の中でジビエに取り組んでいる地区が一堂に会し、一般聴衆も招いたジビエイベ

ントが出来ればと良いと思う。

- ・大賞の早和果樹園の商品は全国でも有名な食品チェーンの店頭に並んでいるので、大賞シールを貼るなどして、「ディスカバー農山漁村の宝」の知名度向上を図ってはどうか。
- ・今回アンバサダーに選ばれた方は、地域で長年、活性化を進めてきたリーダーの娘さんなので、良い事例のひとつになると思う。
- ・「ディスカバー農山漁村の宝」サミットは、悪天候に関わらず一般来場者が多く入ったこと、サミットに集まった方達と近い距離感で交流が出来たことが良かった。
- ・次の展開として、応募が千件を超え、広がりが出てきているが、ブランド力向上に向けて「数から価値への展開」が必要になってくるのではないかと。
- ・サミットを通じて、選定地区の方々に「ディスカバー農山漁村の宝」は選定後も皆様を見ているというメッセージを送れたと思うし、選定地区の方々もそのように感じてくれたと思う。
- ・今後も広がりを見せていくためには、選定地区が選定後も元気に取り組んでいるということが大切になってくる。

(片山内閣府特命担当大臣)

- ・私もサミットに参加して、非常に良い試みだと感じた。
- ・販売について織作委員からも御発言があったが、インターネットや道の駅で販売するなど販路を安定させることが成功の鍵。
- ・野菜で言えばトマト、果物で言えばイチゴの生産量が増えてきており、値段が下がってきているとの声を聞くが、三ヶ日のみかんのようにうまく調整している例もあるので、農林水産省でも対応していただくとともに、地方創生担当としても見守っていく必要があると感じている。

(吉川農林水産大臣発言)

- ・先日開催されたサミットでは、私自身も多くの方とお話をしたが、その中でも、選定を機に各々の地域で更に元気に取り組を継続しているということに一番感激し、わが国の農山漁村全体を更に元気にしていかなければならないと、決意を新たにしました。
- ・第6回選定以降も、農林水産省として、引き続き、これまでの選定地区も含めて「ディスカバー農山漁村の宝」の情報発信に積極的に取り組んでいく。

(林座長)

- ・意見交換を終了する。
- ・第6回選定以降の選定方針及び新ロゴマークについて了承することでよろしいか。

(異議なしの声)

(林座長)

- ・「ディスカバー農山漁村の宝」の今後の展開については、本日の有識者懇談会委員意見を踏まえ、事務局で対応いただきたい。
- ・それでは、閉会に際して菅内閣官房長官から御挨拶賜りたい。

【開会挨拶】

(管内閣官房長官)

- ・先日開催された「ディスカバー農山漁村の宝」サミットには、私も参加して、全国の選定地区の皆さんから直接お話を伺い、選定された後もそれぞれの取り組みを発展させ、横展開させる努力が続けられていることに大変感銘を受けた。
- ・今、机の上にはサミットで「大賞」を受賞した和歌山県の早和果樹園で作られたみかんジュースがあるが、みかんのジュース加工により中山間地域で約100人の雇用を生み出し、中国などにも輸出を行う取組は、他の地域のモデルとなるものである。
- ・今後とも、安倍政権として、農林水産業の成長産業化による所得向上を、「成長戦略」と「地方創生」の重要な柱として推進していく。
- ・また、本日は、今年の新たな「ディスカバー農山漁村の宝」の選定方針が決まり、これから応募が始まることになるが、本年も、地域の素晴らしい取組に光を当て、全国の農山漁村への展開を応援していきたい。

【閉会】

(以上)